# NP0 ピースサポート協会 ニュース 第8号

ピースサポートとは「心の平和への支援」の願いが込められています。

2017年(平成29年)4月

発行 NPO 法人 ピースサポート協会 〒379-2143 群馬県前橋市新堀町 190番地1 TEL/FAX 027-265-2277

E-mail:info@peace-sa.co
URL:http://peace-sa.com

## 3.11大震災から6年

て震災から6年 (情報提供:時事通信社)

避難者12万3千人・仮設に3万4000人

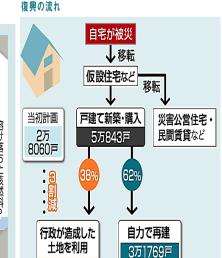
今年3月11日で発生から6年を迎えた。岩手、宮城、福島の東北3県を中心に襲った津波や東京電力福島第1原発事故で、今も約12万3000人が全都道府県に散らばって避難し、被災3県の仮設住宅に約3万400人が暮らす。復興庁がまとめる避難者数、今年2月現在12万3168人。福島県民の避難者数は7万9226人を占める。

広がる避難解除、進まぬ帰還 4月1日までに福島県内11市町村の対象区域の約7割で解除される。しかし、実際の住民の帰還は進まない。帰還した人の割合は13.5%<若者ほど帰らないとする人が多い。

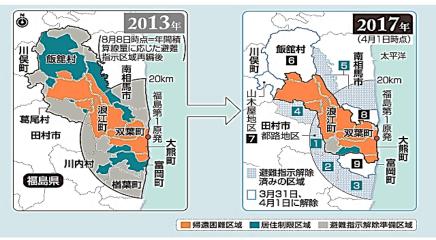
福島第1原発の廃炉期間、これから40年? 廃炉費用は8兆円? 放射能汚染水102万トン、圧力容器の底から溶け落ちた核燃料(デブリ)の状況を把握できていない、今も必死に働く700人の作業員。

### ■ 2号機格納容器内のロボット調査経過





■避難指示区域の変化



■4月1日までに避難指示が解除される区域

(Sv=シーベルト、線量は1時間当たり)



1万9074戸

仮設住宅の入居者推移

(注) 125 は新規転入者などを含む

H29.3.5~6 宮城県石巻市、雄勝町の皆さんを訪ねました。

### ワカメを食べて復興支援にご協力をお願いします!

### 石巻市雄勝町の現状は

石巻市雄勝町は震災前の人口は約4300人。そのうちの3000名

ほどが津波により被災し、家屋が流出しました。中心市街地である雄勝町雄勝地区にはおよそ 630 世帯が住んでいましたが、津波によって 590 世帯ほどの家屋が全壊流出し、死者も 100 名ほどに上りました。 災害に強いまちづくり宮城モデルの構築が掲げられ高台移転と防潮堤建設が二本柱として進められています。 ほとんど人が戻らない地域に 6.4 メートルの防潮堤建設が予定されています。

住民の 9 割が出て行かざるを得なくなる復興政策 高台に造成された土地に移転できるのは、震災時に住んでいた被災者だけとなっています。被災地としても復興できないというのが今の雄勝町の現状でした。

### 雄勝町立浜の 末永勝紀 自治会長さん からのメッセージ

震災から6年、七回忌を迎えました。港には6メートルの防潮堤がつくられています。しかし若い者は、この 雄勝に戻る人が少なく、これからの課題が残されています。お陰さまで、高台に住宅地が完成し、ようやく足 を延ばして休むことができるようになりました。しかし、人口が激減し、生活復興もこれからです。私たちは、 皆さまのご支援を頂き本当に助かっております。これからもあたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

### ワカメを食べて復興支援にご協力をお願いします!

〈感想〉 石巻市雄勝町のかつての町並みは消え去り、水産工場の建物が完成しつつありました。多くの人々の尊い命を奪った津波は、静かな海に変化し何事もなかったかのような景色でした。残された被災地の皆さまの悲しい思いは、どんなに悲しいことかと思うと、涙が自然とわいてきます。被災地の皆さまにお会いするたびに、深々と頭が下がる思いです。「私たちも共に、復興の道を歩んでまいります。」と いつの間にか心の底から叫んでいました。石巻市雄勝町の被災地の皆さまへの生活支援の活動として、新鮮な生ワカメを皆さまへ呼びかけ、その代金を漁師さんの口座へ振り込ませていただきます。

どうか、被災地の漁師さんの生活復興支援に、ご協力をお願いします。



新鮮な生ワカメー袋¥500



雄勝町立浜に造成された新しい団地



末永会長さんより復興状況のご案内

## 東松島市大曲浜の現状は

## **住民が住民を守っていく未来のまちづくりを目指す** あおい地区会(宮城県東松島市)



## 東松島市復興住宅あおい団地 自治会長 小野竹一さん

「さまざまなことを決めていくのに、その人の意見を 最後まで聞くことが大事だと思います。最終的には、 住民全員の意見として、総会で決めていきます」 大曲浜地区を襲った6メートルの大津波。犠牲になった286人、 仮設住宅に避難して6年、ようやく完成したあおい団地、 小野竹一会長さんは、「世界一住みよい団地を住民の皆さんと一緒に つくりたい」と、仮設住宅の自治会長から引き続き、三つの自治会 からなる「復興住宅あおい地区会」会長として取り組まれています。 一人一人の被災した人に寄り添い、見守り、支え合って、

「住民が住民を守っていくあたたかい街づくり」が進んでいます。





#### 〈あなたに伝えたい〉 仲間と支え合って前へ 川上由夫さん(78)

川上和子さん=当時【66)、大内真弓さん=同(43)、龍さん=同(14)、聖(たから)さん=同(13)は、 和子さんと夫由夫さん(78)、雄のビーグル犬トワは海に近い東松島市大曲浜で暮らしていた。長女の真弓さん と孫の龍さん、聖さんは東日本大震災発生後、市の内陸部から車で大曲浜へ。

車で避難中に津波に襲われ、九死に一生を得た由夫さんと愛犬トワ 以外の4人が犠牲になった。

〈由夫さん〉 3月11日を忘れて復興はあり得ません。

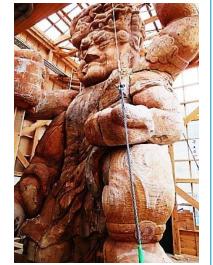
東松島市の、防災集団移転団地のあおい地区に建てた家で、愛犬トワと生活し、親子のように布団で寝ています。 見守ってくれてありがとう、と家族の仏壇に手を合わせ、週1回は市内の清泰寺にある墓へ行きます。 夢中だった震災直後より、冷静な今の方が悲しい。もっと優しくしておけばよかったと悔やみ、「助けて!」と 津波に流されていく孫の龍君の姿が目に浮かびます。

あの日は地震発生後、私たちのことを心配した娘の真弓が、中学生の龍君と聖君を車に乗せて迎えに来ました。

女房は私に「トワを乗せて行きなさい」と言いました。これが別れの言葉です。 私の車は、前が水に沈む形で浮かび、約1キロ内陸まで流されました。 車内で愛犬トワを抱っこしながら一晩過ごしました。トワは命を救ってくれた 大切な存在です。 家族4人が犠牲となり、私は「死にたい」と思いました。 「清泰寺」を訪ね、住職夫婦に気持ちを伝えたら「亡くなった人を供養するのが 生き残ったあなたの役目だよ」と諭されました。

#### 「清泰寺」 住職・小池康裕さん(75)

復興と安寧を祈願し、家族を亡くした人のために観音像を彫り続ける「寒ければ 余計に着ればいい」「観音様をなでて、良かった時代を思い出してもらえれば。 悲しいことを思い出すのではなくて」「何かすがるものが、人間は必要だと思う」 震災の復興と安寧を祈願しながら、小池住職さんはすでに1000体の観音像を 完成させた。5~6メートルもある大きな「不動明王さま」どんな大きな津波が きても、津波をちぎって民衆を助け、煩悩を断ち切って救いを示す。その願いを 込めて、これから10年かけて完成したいと話された。小池ご住職の被災者を 思い身を尽くして行動する姿に触れ、深い感動と生きる勇気が心に伝わってきました。「+年後に完成する不動明王さま」





(左)真弓さん、和子さん、聖さん、龍さん



再建した自宅でトワと触れ合う由夫さん



念仏を唱えながら仏像を彫る小池住職

### 平成28年度の活動報告

事業報告·活動計算書はHP <a href="http://peace-sa.com">http://peace-sa.com</a> をご覧ください。

「被災地支援報告会」H28.11.17

大震災から6年、足利市民活動セン

### 平成28年度 支援活動の報告 温かいご支援ありがとうございました。

支援活動

内 容

ワカメ昆布支援活動

4.864袋 (振り込み済み)

復興支援活動

雄勝町,東松島市仮設(復興支援寄付¥280,000)

人材育成事業

ダルマ塾 4月~毎月1回(参加者246名)

講演会事業

足利市、前橋市2会場 (参加者180名)

理事会•役員会

理事会 年3回

役員会 毎月1回

支援者サポーター

108名

「ダルマ塾」は、生活に即した諸 問題を通して、豊かな心を身に 着けて 生きがいある人生を歩 むことを目的とします。本音で の学びあいには感動が生まれま

日時:毎月第3土曜日 🐍 AM10:00~PM3:00 会場:足利市民プラザ

対象:平和支援活動へ意欲の ある方、誰でも参加できます。



「被災地支援ツア - 」H28.11.5~6 テディベアの活動を推進しておられ る、高崎パース大学の竹澤泰子先生と 仲間の皆さんが真心こめて手作りされ た大きな熊さん(テディベア)を被災 地の皆さんへ届けてくださり、涙を浮 かべて喜んでくださり感動のひと時で



ターで、被災地支援の現状につい て、活動報告会が開催されました。 大勢の参加者と共に支援の大切さ をかみしめ合いました。



「講演会活動」H28.6.11~12 東北郡山市で除染活動をしている 鈴木洋平氏の「福島の現状」につ いて講演、足利市民プラザ、前橋 下川淵公民館で開催され 180 名 が支援の大切さを確認しました。



「葉鹿町トラック市」H28.6.5 毎年開催されるトラック市で、 ワカメ支援を、樋口さんの支援 グループが呼びかけてくださいま す。あっという間に250袋の ワカメが完売されました。



「桐生市駅まえ広場」H28.5.1 桐生市市民活動センター「ゆい」の 近藤センター長さんの配慮により桐 生駅に於いて「ワカメ支援」を呼び かけました。2時間で254袋完売。



「**ごあいさつ**」お陰さまでNPO法人としてスタートし6年目を迎えました。被災地の皆さまへの支援活動をさせて頂 くごとに、私自身が大切な生き方を教えて頂き、生きる力を与えて頂いています。今後も多くの市民の皆さまと共に、 優しさと思いやりの輪を拡げて行きたいたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします 理事長 久保田光明 拝

### 世界一貧しい大統領 ホセ・ムヒカ 氏

生誕:1935年5月20日 ウルグアイ大統領



#### ムヒカ大統領の心に沁みる名言

本当に日本人は幸せなのか?と疑問である。

貧乏な人とは、少ししかものを持っていない人ではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない 人のことです。人生で最も重要な事は勝つ事ではありません。 私たちは発展するために生まれてきている わけではありません。幸せになるためにこの地球にやってきたのです。

人生は短いし、すぐ目の前を過ぎてしまいます。命よりも高価なものは存在しません。

### あなたも一緒に支援活動のサポーターになりましょう!

年一口¥3,000-の支援で平和活動の支援者(サポーター)です。 ピースサポート協会は、多くの皆さんと共に、思いやりあふれる 家庭や社会を拡げ、東日本の被災された方々や、海外の貧困生活に 苦しむ子供たちへの支援を推進しています。世界中の平和を願って 私たちと一緒に平和支援のサポーターになりましょう。



シリア難民の人々300万人

世界中の幸せは一人の人の心から

## NPO 法人 ピースサポート協会

事務所 〒379-2143 群馬県前橋市新堀町 190 番地1 TEL/Fax (027) 265-2277 携帯 090-1113-9200

E-mail info@peace-sa.com http://peace-sa.com